

「事業名：脱炭素社会と環境配慮型持続可能なまちづくり創造事業」**獨協大学 連携市町村：田村市**
現地拠点：田村市 テラス石森**事業のポイント**

本事業は、本学と浜通り地域等の市町村との間で継続的な関係を構築し、「外国語教育」「環境教育」に関する資源やノウハウを活かした事業を展開し、脱炭素社会と環境配慮型持続可能なまちづくりを目指す。これにより、SDGs達成の担い手や社会課題に取り組む人材育成、イノベ構想の実現や復興まちづくりに貢献する人材育成や新たな担い手の拡大を目的とする。

人材育成・定着計画及び目標

持続可能なまちづくりを実現するために、地域や世界の課題解決に取り組み、復興まちづくりに貢献できる人材を育成する。それにより、本学学生については関係人口になったり、さらには移住して就職・起業することで、復興まちづくりの担い手になる学生を輩出することに力を注ぐ。また、地域住民には地域コミュニティに貢献するさまざまな活動に参加するようになり、地域の子ども・若者が復興まちづくりの担い手として浜通り地域等の市町村で就職・起業するように協力していく。

2026年度の活動内容

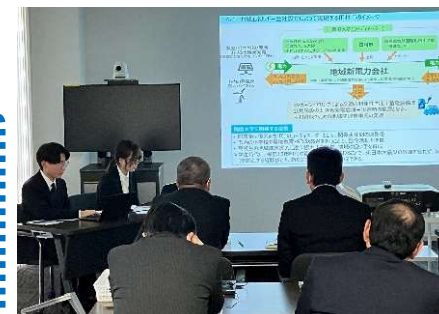
- 田村市立船引南小学校5年生の正課授業で英語の授業を実施
- 東日本大震災・原子力災害伝承館の多言語化にインターンシップ等を通じて協力
- 田村市立大越中学校において1年、2年、3年の全校生徒に環境教育・SDGs教育を実施
- 田村市地球温暖化対策イベントの開催に協力したり、引き続き「たむら市政だより」の連載コラム「ちょこっと、エコライフ」を学生が執筆
- あぶくま柏鵬高校における「総合的な探究の時間」の授業に1年、2年、3年の各学年1回の協力を予定
- ムシムシランドの活性化に取り組み、インセクトフィールド候補地を整備するなど、インセクトツーリズム振興に協力
- 田村市役所、まちづくり法人等及び地域課題解決に取り組むローカル・ゼブラ企業でのインターンシップ等を実施

取組によって得られる成果

- 本学学生がプログラムに参加することで、復興支援、SDGsや持続可能なまちづくりへの学びが盛んになる。
- インターンシップ等に参加後も意欲的に「復興知」事業に取り組むことで、地域への就職、起業につなげる。
- 地域の子ども・若者が国際社会の中で地域社会の課題を捉え、自分の将来設計ができるようになる。
- 地域の子ども・若者、社会人が地域の価値を再認識し、地域への愛着、当事者意識が高まる。
- 地域住民において環境問題や、環境配慮型持続可能なまちづくりへの意識が高まり、地域づくりが活発化する。



小学6年生向けに環境教育・SDGs教育を実施。すごろく「気候変動適応への道」を行う様子



市長・副市長及び関係部長へ脱炭素×まちづくりの事業提案をする学生